

令和7年2月28日

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

学校名	都立八王子盲学校
所在地	八王子市台町 3-19-22

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

9、10月実践では、生活の中で聴こえる音や楽器の音をオノマトペで表現したり、似た音を探したりする探究活動を行った。

音楽遊びで馴染んでいる楽器だけでなく、身近なもので様々な音を出せることを体験した幼児が、さらに活動を広げることができるように、絵本の音表現を想像し、その音表現に合う音探しを行う活動を設定することとした。

2. 活動スケジュール

- | | | | |
|---|------------------|-------------------------------|-------|
| 1 | 【出会う】 | オノマトペの表現を楽しむ ～読み聞かせ「くまさんおでかけ」 | …1時間 |
| 2 | 【探究①】 | トコトコ、ポン、の音探しをする | …1時間 |
| 3 | 【探究②】 | 絵本に出てくる音表現を味わう、音探しをする | …5時間 |
| 4 | 【広げる】 | 音のお話会に向けて ～みんなに伝えよう～ | …2時間※ |
| 5 | 【共有・振り返り】 | 音のお話会「くまさんおでかけ」 | …1時間 |

※個別、領域、その他生活の時間を含む

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備】

- ・様々な種類のオノマトペが出てくる絵本（こどものとも年少版「くまさんおでかけ」）
- ・音楽遊びの楽器類

【環境設定】

- ・音に集中できる静かな環境、身近なものが手に取れる環境（幼稚部教室）

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ①言葉遊びの中で、絵本「くまさんおでかけ」の読み聞かせを行う。
- ②音楽遊びの時間に絵本の中の音について振り返りをし、くまさんの歩く「トコトコ」やおなかを叩く「ボン」に合わせて身振りをつけたり自分の体で音を出したりする。
- ③身近なものや楽器を使って音探しを行い、相互に聴き合ったり意見を言ったりする。
- ④朗読に合わせて見つけた音を鳴らし、絵本の世界を楽しむ。
- ⑤絵本の中に出てくるオノマトペに合った音探しを行う。
- ⑥音のお話会に向けて、他学部児童や教師に伝える活動を行う。
- ⑦音のお話会で朗読に合わせて探した音を鳴らして発表する。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と先生との関わり>

音探しの中で『とことことこ』と『ぼん』の音が出るものがあるかな?と投げかけると、子供たちはそれぞれおもちゃ棚や自分の部屋で様々なものの音を出して音探しを始めた。Aは「とことことこ」の音を出すために、ジグソーパズルの入った箱にバチを使って叩いて音を出した。しかし「ちょっと違う。『ポンポンポン』になっちゃう。」と言って、困っている様子だった。「違うもので叩いてみたら?」と教師が言葉掛けをすると、円盤型の積み木を使って叩いて「何か違う。」と呟いた。教師と共に箱の中身(ジグソーパズル)がない空の箱と叩き比べることで、「こっちの方がいい。」と言って空の箱と円盤型の積み木を持って席に戻り、みんなの前で音を披露することができた。

<活動の様子>



5. 振り返り

絵本のオノマトペに合う音探しを行ったとき、最初は教師の支援がないと自ら合う音を見つけることが困難だった。しかし、活動を繰り返し慣れるにつれて、自分でオノマトペに合う音を発見できるようになり、活動に主体的に取り組む様子が見られた。

以上